
平成18年度第4回 音環境運営委員会 議事録(案) 記録：古賀

A. 日 時 平成18年10月16日(月) 17時00分～19時00分
B. 場 所 建築会館304室
C. 出席者 平松友孝、古賀貴士、中澤真司、赤尾伸一、岩瀬昭雄、大鶴徹、岸永伸二、
佐久間哲哉、中川 清、濱田幸雄、羽染武則、福地智子、安岡博人、吉村純一
(敬称略)

欠 席 者 井上勝夫、河井康人、佐藤哲身、吉久光一、坂本慎一、藤本一壽(敬称略)
D. 提出資料

- No.4-0 平成18年度第3回音環境運営委員会議事録(案)(古賀)
- No.4-1 2006年度第3回環境工学本委員会議題(抜粋)
- No.4-2 日本建築学会大会細々分類
- No.4-3 2006年固体音シンポジウム案(平松)
- No.4-4 音環境アカデミック・スタンダードに関するアンケート集計結果(佐久間)
- No.4-5 音響数値解析小委員会活動報告(大鶴)
- No.4-6 日本音響学会騒音・振動研究委員会 今後の予定(藤本)
- No.4-7 日本音響学会建築音響研究会 今後の予定(吉村)
- No.4-8 学校施設の音環境保全基準・同解説(福地)
資料No.4-参考 CASBEEにおける音環境評価項目に関して(佐久間)

E. 審議事項

1. 前回議事録確認(資料No.3-1)
 - ・
2. 本委員会報告(資料No.3-2)
 - ・ 2006年度大会各部門の出欠と使用機器。レッツノートは出力が小さいらしくトラブルが多かったとの情報あり、今後継続調査するとのこと。
 - ・ 近畿支部環境工学部会の運営体制について紹介があった。年二回程度講演会または研究発表会を実施予定である。
 - ・ 企画刊行運営委員会アカデミックスタンダード小委員会から 用語の定義とフローチャートが示された。
 - ・ 卒業論文等顕彰事業委員会の委員に吉久先生を推薦する。
 - ・ 建築学会大賞・文化賞候補の推薦依頼
 - ・ 環境工学連合講演会の運営委員に坂本雄三先生を推薦することが承認された。
 - ・ 2007年度環境工学シンポジウム(大会研究懇談会)の企画案の状況について紹介
3. 建築学会大会分類(資料No.4-2)
 - ・ 2.環境騒音のc.騒音伝搬と、3.騒音・固体音のb.騒音伝搬との判断がつきにくいので、後者に(建物付近屋外、屋内)という補足説明を加えた。
 - ・ 何か意見があれば、次回本委員会までに
 - ・
4. オーガナイズドセッション・シンポジウム企画について
 - ・ 2007年度『床衝撃音の測定法と評価』というテーマで提案をした。
 - ・ 固体音シンポジウム『重量床衝撃音の実衝撃源と標準衝撃源』(2007年3月6日)(資料No.4-3)
 - ※ タイトルがわかりにくいのではないか。
 - ※ 内容とタイトルとも一致していない部分がある。
 - ・ 企画・広報小委員会主催『音響関連企画とアカデミックスタンダード(案)』(3月下旬予定)の企画について中川委員より説明があった。
 - ※ アカデミックスタンダード小委員会と合同で開催することが了承された。
 - ※ 会告案については次回の運営委員会にて議論する。
5. アカスタアンケート結果について(資料No.4-4)
 - ・ 赤本の改訂は必要だというのが回答の過半を占める。
 - ・ 用途毎に分冊として改訂していくのか、赤本全体をそのままあるいは書き換えてアカスタ